

ロシア

不安定ながらも拡大するロシア経済

ロシアの2011年上半期の実質GDP成長率は前年同期比3.7%であり、やや成長の速度が鈍化した。固定資本投資は年初にもたつき、その後は増加傾向にあるが、上半期を通して見ると前年同期比2.7%にとどまった。小売売上高の増加率(同5.4%)は、2008年以前はもちろん2010年の実績値と比べても低い水準である。とはいえ、実質可処分所得が前年同期比マイナスという状況の下では、かなり健闘しているとも言える。その背景として、消費性向が高まっていること、消費者ローンの活用が進んでいることなどが推測される。また、春以降、物価が比較的安定していることが消費行動を促している面もあるのかもしれない。その上で、夏以降は、固定資本投資は比較的高い増加率を示し、実質可処分所得も増加に転じていることから、年後半は経済成長が加速することが見込まれる。

国内指標が不安定な動きを示しているのとは対照的に、貿易は急拡大が続いている。上半期の貿易額は、輸出が前年同期比31.5%増、輸入が同41.8%増となった。主要輸出品である原油に関しては、金額ベースでは前年同期比32.9%増加となり、輸出額の増加に大きく貢献したが、重量ベースでは4.7%減少している。ロシア産原油の代表的な銘柄である「Urals」の平均価格が108.1ドル/バレル(前年同期は75.9ドル/バレル)と高い水準で推移したことが貿易額の増加につながっており、油価の変動が貿易額に影響を及ぼす構図は変わっていないと考えられる。

以上のように、一部に不安定な動きあるいは将来的な不安定要素はあるものの、ロシア経済全体としてはリーマンショック以降の経済拡大が継続しているといえる。

2012年予算

ロシアでは毎年、翌年から3年間を計画期間とする中期予算を策定している。現在執行中の予算は2011~2013年を対象とするものである。これに対して、2012年から3年間の予算案が9月30日に国会に提出され、審議が進められて

いる(以下、「2012年予算案」という)。

2012年の歳入は11.8兆ルーブルと見込んでおり、これに対して歳出12.7兆ルーブルを計上しているため、0.9兆ルーブルの赤字予算ということになる。これは、GDPの1.5%にあたる。対GDP比の赤字幅は、2008年に6.0%、2009年に4.0%であったので、これらよりは低い水準に抑える予算案であるが、2011年の決算見込み(同0.1%の赤字)に比べると拡大する。2011年の決算見込額と2012年予算案とを比べると、歳入は6.4%増に止まるのに対し、歳出は14.0%も増加することになっている。今年12月の下院議員選挙、来年3月の大統領選挙が歳出拡大圧力となっていると考えるのはうがった見方であろうか。もとより、GDP比1.5%の赤字というのは国際的に見て、決して高い水準ではないので、あまり問題にする必要もないのかもしれない。ちなみに2012年予算案では、2013年は赤字幅が拡大するものの、2014年には歳出の伸びを抑制することで赤字幅を圧縮(GDP比0.7%)する計画となっている。

なお、2012年予算案の前提となった中期経済見通し(経済発展貿易省作成)では、2012年から2014年の各年の経済成長率を3.7%~4.6%と予測している。ロシア経済に大きな影響を持つ油価("Urals")については、現在よりもやや低いレベルの97~101ドル/バレルの間での小幅な変動と見込んでいる。これを前提として、各年の総輸出額は5,331億ドルから5,653億ドルへ増加すると予測している。総輸入額は3,974億ドルから4,861億ドルへと増加するが、特に投資財の輸入が増え、その構成比は2014年には30.4%に達する見通しである。結果として、貿易黒字の額は2010年の約1,500億ドルからほぼ半減して800億ドル弱になるものと見込んでいる。投資財の輸入拡大は、固定資本投資が毎年7%台の伸びを続けるとの予測を背景にしたものである。同時に、国内の機械工業などでも生産が拡大することを予測している。

以上より、比較的高い油価を前提に貿易が拡大し、需要の国外流出はあるものの、全体としては安定成長を続けるというシナリオを描いていることが読み取れる。

(ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史)

(対前年同期比)

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011		2011				
							1Q	2Q	4月	5月	6月	7月	8月
実質GDP	6.4	8.2	8.5	5.2	▲7.9	4.0	4.1	3.4	-	-	-	-	-
固定資本投資	10.9	16.7	22.7	9.9	▲16.2	6.0	▲0.8	5.0	2.2	7.4	4.9	7.9	6.5
鉱工業生産高	5.1	6.3	6.8	0.6	▲9.3	8.2	5.9	4.8	4.5	4.1	5.7	5.2	6.2
小売売上高	12.8	14.1	16.1	13.5	▲4.9	6.3	5.0	5.8	5.8	5.8	5.9	5.7	7.8
実質可処分所得	12.4	13.5	12.1	2.3	2.1	4.2	▲0.2	▲2.1	▲3.1	▲5.6	2.1	0.4	1.4
消費者物価*	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	3.8	5.0	4.3	4.8	5.0	5.0	4.7
工業生産者物価*	13.4	10.4	25.1	▲7.0	13.9	16.7	7.0	7.8	9.1	10.3	7.8	6.6	11.5
輸出額(十億ドル)	241.5	301.2	351.9	467.6	301.8	400.1	114.2	135.5	46.1	44.6	44.9	42.6	-
輸入額(十億ドル)	98.7	137.8	199.7	267.1	167.5	248.7	64.9	82.4	27.0	27.9	27.5	27.5	-

*前年12月比。

**斜体は暫定(推計)値

出所:『ロシアの社会経済情勢(5月、8月号)』ほか、ロシア連邦国家統計庁発行統計資料